

## ○南海トラフ地震への対応

将来にわたって安心して学ぶことができる教育環境の整備が喫緊の課題である。

### (1) 南海トラフ地震への対応

- 将来発生する南海トラフ地震から命を守るため、学校安全教育プログラム等を活用しながら防災教育を積極的に推進するとともに、平成27年度の完成を目標に、学校の耐震化等を計画的に実施する。
- 地域と連携しながら、避難訓練等を実施するとともに、食料等の備蓄や、BCP計画の策定、避難所運営マニュアルの整備等を着実に実施する。
- 海沿いにあり、津波による大きな被害が想定される学校については、被災後の早期の学校再開のために、学校の特性や地域の実態を踏まえながら、適地への移転や統合の可能性も含め、対応を検討する。

### (2) 高知南中高校における対応の必要性

- 高知南中高校については、立地条件から、津波による浸水に加えて、他の高等学校と比べて大きなリスクを想定しなければならない。
  - ・津波浸水深 3m以上
  - ・学校を含めた周辺地域の長期浸水
  - ・港や木材団地が近いことから、船舶や木材などの漂流物被害
  - ・津波火災
  - ・周辺の工場や石油基地等の被災による影響 など

### (3) 高知南中高校の移転、統合の必要性

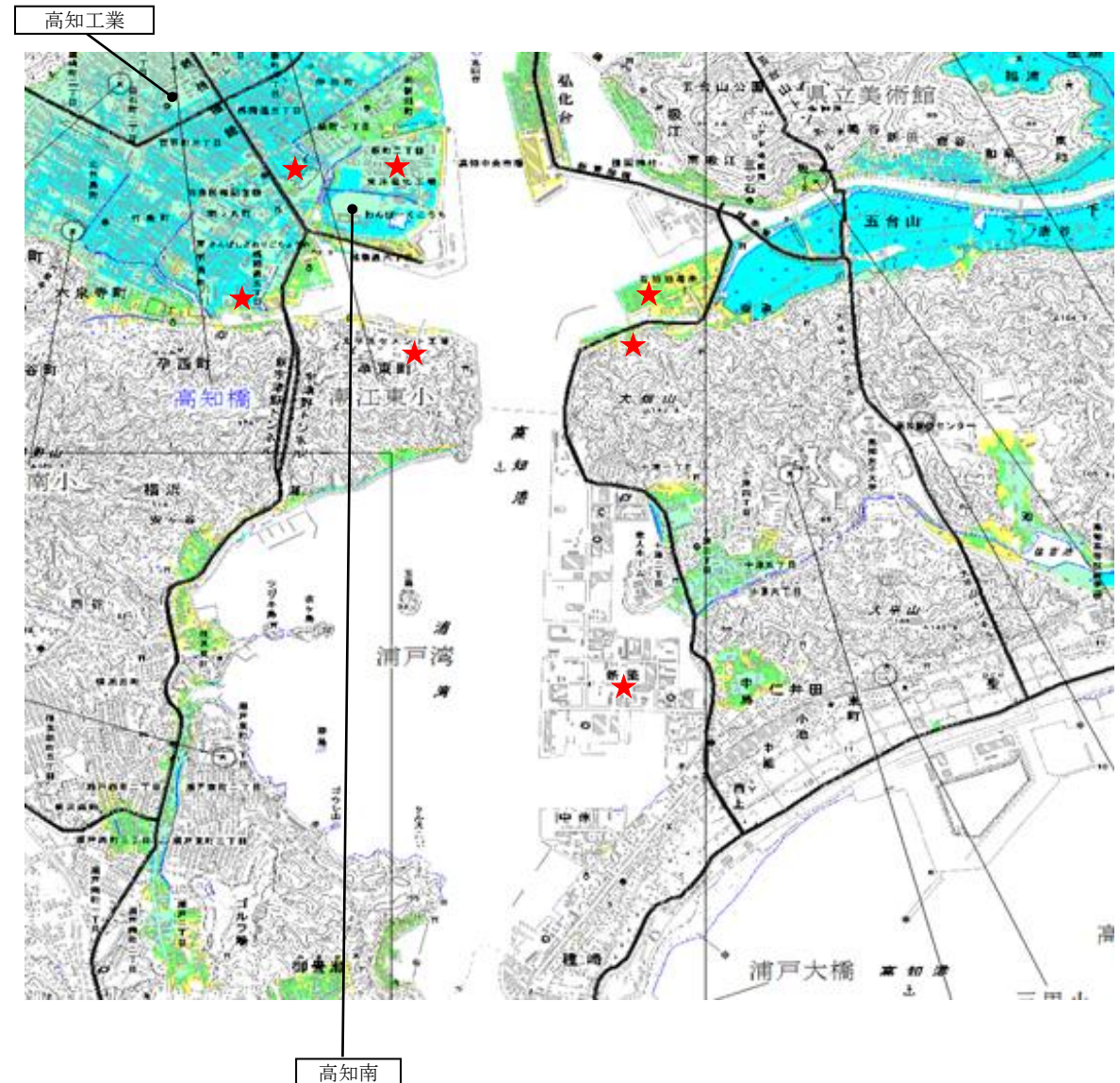
- 高知南中高校については、将来にわたって安心して学ぶことができる教育環境を整えるために、適地への移転や他校との統合といった対応が必要である。
- しかしながら、新たな場所への校舎の移転については、県中央部においても生徒数が大きく減少する中で、単独で移転することは現実的でない。また、移転は県中央部における生徒数の減少に対する抜本的な解決策にはならない。
- 移転ではなく、他の高等学校と統合することで対応していく必要がある。

出典：県立高等学校再編振興計画の基本的な考え方(案)及び平成26年3月8日教育委員協議会資料

## 高知市 長期浸水予測図(高知市南部抜粋)

最大クラスの地震による長期浸水予測(L2)

- ・想定最大地盤沈降量：-1.7m(ケース03 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定)
- ・想定対象潮位：T.P.+0.9m



出典：高知県ホームページ南海トラフ地震対策課資料を一部加工